

# 快適で働きやすい現場づくりにも貢献！ 仮設トイレが現場を変える！

現場の面白さ、仕事の楽しさ主に紹介してきたパワーワーク。今回は視点を変えて、快適な現場をつくり、働きやすい現場を実現させる、仮設トイレなどサニタリーユニットメーカーを取材しました。



▲従来の倍のスペースで着替えにも便利な仮設トイレ。元々は女性用トイレとして開発されたが、機能はそのままに男女ともに使用しやすいカラーリングを設定



▲女性職人に嬉しい鏡付き洗面台

▲女性よりも男性に好評という温水洗浄便座

**仮** 設のトイレや洗面台といったサニタリーユニットメーカーの日野興業。同社は「仮設トイレを変えよう」とフラットトイレプロジェクトと銘打って、女性専用仮設トイレの開発にも力を入れている。そこで生まれた多くのアイデアは実際、「すべての職人にとって快適さが向上するものになっています」と話すのは、営業企画部の部長 谷本さんだ。

「これまでの仮設トイレは、スペースや臭い対策、耐久性向上などがメインで、まさに用を足すためのだけの機能でした。そこに小物を置く棚や吊るすフック、電池式で電気工事もスイッチも不要のLED照明など、自宅のトイレなら当たり前のものが仮設トイレに付くようになりました。例えば温水洗浄付トイレは女性よりも男性職人から好評を得ましたね」

こうした仮設トイレの設計には女性も携わっている。熊本さんは元々

CADオペレータとして設計事務所働き、2年前に同社へ入社した。



営業企画部 部長 谷本 巨さん  
岡山県出身。4トトラックドライバーやサイディング工を経て10年前に入社する

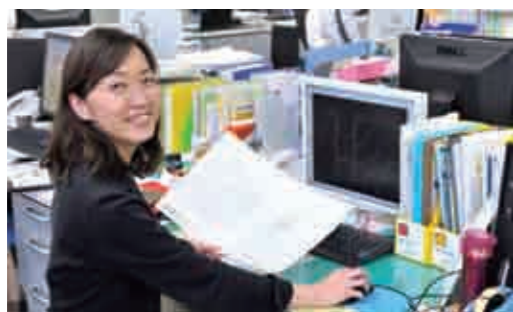
「仮設トイレを安心して利用できることで、建設現場の女性にとって一番重要なこと。例えば「鍵が壊れていないかな？」とか、「外で男性が待っているのかな」など考える必要がなく、着いて利用できます。そこで暗証番号付きの二重ロックや擬音装置の取り付けが考えられました。また女性は、個室の中で用を足すだけでなく、ちょっとした身だしなみを整えます。すると鏡や洗面台が必要になっ



▲女性用トイレのフラワートイレWLXシリーズ。フラワートイレは「けんせつ小町が働きやすい現場環境整備マニュアル」に準拠している

てきます。これらのように現場や展示会などで多くのアンケートを集め、快適になるためのアイデアは何でも試してきました。設置の簡易さやコスト面など、常設用とは違うポイントは

いくつもありますが、トイレが休まる場所ではなくてはならないという目的は仮設も常設も同じ。良いアイデアが施工コストの面で実現できるよ



営業企画部 商品開発課 熊本 好美さん  
東京都出身。大学で建築を学ぶ。結婚、子育てで家庭に入るも、2年前に入社

**女** 性の職人が増えてきた理由の一つは、現場環境が改善されたことだ。即ち、男女関係なく働く人たち全員にとっても働きやすい快適な環境として建設業界が認められつつあることの証でもある。建設業界のイメージ向上は、同社のような仮設トイレを通して現場に携わる人たちも一翼を担っていると言える。最後に谷本さんは、仮設衛生設備の将来について、このように話してくれた。「常設と仮設のトイレが両方あった場合、あえて仮設トイレを選ぶようになるような製品は将来実現します。その実現が少しでも近い将来になるよう、私たちは日々、現場の声を集め、利用者にも設置者にも喜ばれる製品を追い求めています」

今週の取材協力は

**日野興業(株)**

千葉県市川市原木3024  
1952年設立



仮設トイレ(簡易トイレ)や常設トイレを始めとする屋外トイレ、風呂、シャワー、シンクなどの製造、販売、レンタルを手掛ける同社。建築現場だけでなく、祭りや花火大会、コンサートといった各種イベントなど日本全国で同社の製品は設置されている。先月の熊本地震の際にも多数の製品を送り、被災地の衛生環境を守っている。

